

日本共産党東大阪市会議員団主催

市民要求こんだん会

日頃は、市民要求実現に向けた奮闘、
お疲れさまです。

新年度予算を審議する3月議会が目前
にせまってきました。国保、介護、医療
をはじめ市民要求について各団体の皆さん
と意見交換をしたいと考えています。

各団体からのご参加、ご意見をお待ち
しております。



3月4日（水）

午後6時30分～8時30分

東大阪市立

市民会館

5階 第5会議室

2015年3月4日（水）夜6：30～

市議団主催「市政懇談会」市民会館5F

参加者 25人（内、市議団8人）



まず、司会の長岡幹事長が3月議会の日程や本会議質問について報告しました。

続いて、内海団長が野田市政について報告。①野田市長の「施政方針演説」は市民不在。暴走状態。②新集中改革プランで職員削減・民間委託・市民サービス切り捨て③公共施設再編事業、ラグビー場敷地買い取りなどで市債は一気に増え財政悪化

④国の新制度を期に保育所・幼稚園・学童保育施策が大きく後退 ⑤市議会の保守会派は野

田市政にすり寄り状態 ⑥ 憲法と地方自治法の本旨を逸脱し暴走状態の野田市政に対し元市幹部からも嘆きの声がでている、と詳しく分析し、共産党市議団は今議会でこんな野田市政の下で苦しんでいる市民の声を届け、論戦を通じて正していきます、と決意を述べました。

続いて、代表質問をおこなう塩田副幹事長が質問の概要を説明。

建設事業が目白押し。市債残高が急増。中小企業・小規模事業者への支援がなされていない。介護、国保、保育所、幼稚園、高齢者対策等々、市民の切実な要求に背を向けたままである。と報告しました。

続いて、個人質問をおこなう上原議員が質問の概要を説明。

図書館行政では指定管理制度を導入しようとしているが、市民の教養を高める市の役割を放棄。市の「いじめ防止条例（案）」は最悪。罰則や管理・統制、道徳教育や家庭教育の押しつけではいじめ問題の解決にはならない、と他市の例も挙げ、こんな条例は有害である、と説明。新制度による学童保育では子どもを差別する「入所同意書」を保護者に求めるなどさっそく市の無知・無責任さが露呈している。他に、防災問題では、マンションでの地震対策や市の危機管理室の体制問題などを報告しました。



続いて、フロアーから発言。



・学童保育の「同意書」を撤回させたのはうれしい。新年度から3つの事業体という異常な運営は東大阪市だけ。子どもが大事にされていない。

・市の職場は非正規が1／3～1／2になっている。給食の職場ではアレルギー色の専門家をはずして素人を配置。子どもの安全が守れない。市民病院も独立行政法人にされ、中河内救命救急センターを吸収する計画もあり、数年後に経営赤字を理由に廃止を考えている。

・子どもの貧困対策を。

・いじめ問題や学力問題。教師はあまりにも多忙。少人数学級が必要。エアコンの設置。
教科 書問題。公民教科書だけでなく歴史教科書も狙われている、と具体的な記述をあげ、歴史をねじ曲げるこんな歴史教科書が子どもに押しつけられたら大変。

の発言がありました。

最後に、長岡議員が皆さんの発言や要望については今後議会でも取り上げ、報告も聞いていきますと応え、懇談会を終了しました。

- ・市の図書館行政は八尾市と比べてもまったくひどい。旭町図書館は移転せず拡充を。
- ・市長公約である中学校給食を野田市長は放棄した。実現に向けもっと取り組んでほしい。
- ・近鉄大阪線の高架をすすめてほしい。JR永和駅と近鉄永和駅の連絡通路のバリアフリー化。あちこちの歩道の敷石が凸凹になっている。
- ・公共施設再編整備計画の見直しを求める署名をもっと集めよう。

